



【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝 12 高岡市産業振興部 地域振興交流課内  
TEL.0766-64-1426 FAX.0766-64-0566 <https://sugegasa.web.fc2.com>



Instagram



## 新年のご挨拶

越中福岡の菅笠製作技術保存会  
会長 村本 孝義

新年明けましておめでとうございます。会員、関係者の皆様方には、お健やかに明るく輝く初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

4年近くに渡って人類を恐怖に落とし入れた新型コロナに対策、対応が講じられ、本来の日常生活に戻りつつありますが、新たにインフルエンザが流行し、健康に留意しなければならないこと等が増えて来ました。世界的には民族どうしの争い事が多くなり、戦争の危機が近づいている様に感じられる今日この頃です。その結果、ガソリン等の燃料高騰、エネルギー危機、食糧不足、諸物価の値上げが続き日常生活を苦境に追い込んでいます。世の中全体が混沌としている状態になって来たように思いますが、私達は伝統ある菅笠工芸品の技術を守り続けていく事がとても大切だと改めて再認識し、努力して行きたいと考えています。

菅草の栽培地の育成、確認（6月実施）、新高岡、福岡駅でのバケツゲ展示（8月実施）、菅笠の技術保存の講座の実施、育成を行いました。又、新たに国宝勝興寺境内で出品宣伝活動にも参加しました。

11月には福岡小学校5年生 90 数名が福岡町のシンボルである菅笠の歴史、現況について勉強してくれました。生徒達は熱心に聞いてくれました。先生方の努力と御理解を期待し、地域の伝統を守り育て、伝えてくれます様希望する次第です。

本年も菅笠製作講座、菅田確認調査、各種イベント参加等の活動を実施致しますので、皆様方の積極的な参加と御支援、御協力をお願い申し上げます。

皆様様の御健康と御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



福岡小学校5年生が、菅笠について学びに来てくれました。村本会長が、菅笠の歴史や大切さなどについて講義しました。(関連記事P5)



## 笠骨職人育成事業

降水量も少なく最高気温が38℃を超えて蒸し暑い日が続いた夏、寒暖の差が激しい冬と、体調管理が難しい中、令和5年度も講師の中嶋尋之さん宅の納屋をお借りして笠骨職人育成事業を実施しています。

6月に初めて大野笠（1尺4寸）の中骨の火曲げ加工を習った育成1年目の中山有希子さん（第8期生）は、3か月後の9月に「最初の頃に比べて中骨が折れてしまう回数が減った。引き続き丁寧に組みたい」と、現在は技術項目最後の市女笠（1尺6寸平タイプ）を習得中です。

堤真知子さん（第5期生・育成3年目）は外輪骨の竹割りや尺竹を製作し、菊地裕美さん（第6期生・育成3年目）は竹の特性や節の扱いに注意しながら、美しい笠骨作りを心がけています。

中嶋先生からは、「3人とも根気が良く、熱心で上達が早い」と成果報告がありました。



- ・写真A/扇風機で涼をとりながら、中骨を炙って曲げています。
- ・写真B/継承者同士で、火曲げのコツを確認しています。
- ・写真C/第8期生 中山さん
- ・写真D/左：第5期生 堤さん  
右：第6期生 菊地さん(右)





10月11日(水)に、「笠骨づくり」と「笠縫い」の合同講座を行い、お互いの講座を見学しました。

## 菅笠づくり後継者育成講座

令和5年8月からスタートした「菅笠づくり育成講座」(高岡市実施)も、残すところ6回となりました。

「笠骨づくり講座」は8名の受講生(初受講3名)が、月2~3回(計20回・3時間/回)、「笠縫い講座」は16名の受講生(初受講8名)が、月2~4回(計20回・6時間/回)高岡市福岡支所3階大会議室で受講しています。

講座見学は随時可能です。お気軽にお問合せください！  
(TEL.0766-64-1426)

◆笠骨づくり講座・・・中山孝志理事と、城山孝顧問が、長い竹を割って削り、組み立てる指導をしています。



- ・写真A/右：講師 中山孝志理事(一文字笠の頭止め)
- ・写真B/中央：講師 城山孝顧問(一文字笠の小輪骨の取り付け位置の確認)
- ・写真C/(左から二番目)/伝統工芸の匠に認定されている中嶋尋之さんが臨時講師として指導してくださいました。ありがとうございました。

◆笠縫い講座・・・橋本レイ子理事と、茂古沼真知子理事が、菅選りから笠を縫い上げるまでを指導をしています。



- ・写真D/第1回目は一斉に大野笠(1尺直径約30cm)の菅選り、シカケ作業を行いました。
- ・写真E/中央：講師 橋本レイ子理事(大野笠の頭止め)
- ・写真F/右：講師 茂古沼真知子理事(立山笠の小骨の取り付け方)



左：講師 松平カヅミさん

## マンツーマン笠縫い講座

昨年度に引き続き令和5年4月から、堤真知子さんと菊地裕美さんが笠縫いの要を講師の松平カヅミさんから学んでいます。

堤さんは一文字笠・胴深笠・丸帽子を仕上げ、12月から乙女笠(中)のしかけ作業に入りました。菊地さんは昨年度の続きの、次郎長笠の笠縫いを行っています。

乙女笠の小輪骨に、ヨリコ菅の代わりにバイヤステープを縫い付けたりと、新しい試みにも挑戦しています。

## 笠縫い同窓会 「リメンバー笠縫い講座」

今回のリメンバー笠縫い講座は、笠縫い修了生の皆様からのリクエストで、菅笠を被る時に使用する“丸輪”作りを行いました。

高岡市主催の笠縫い講座との合同講座で、受講生と修了生の交流の場となりました。

土台の藁を丸めて、耳紐用のイグサと一緒に布テープで固定したら、笠縫いの時に選り分けたヨリコ菅を巻いて完成！

笠縫い職人として活躍している参加者が多く、皆さん手先が器用で、上手に仕上げていました。



11/16(木)・17(金)の2回実施。14名が参加しました。

【講師】松平カヅミさん

【場所】高岡市福岡支所3階大会議室

※リメンバー笠縫い講座は、以前に笠縫い講座を受講又は修了した方を対象に行っています。



# 勝興寺国宝記念「伏木観光まつり」菅笠作り実演 & 菅笠・菅細工販売

令和5年4月23日(日)、勝興寺国宝記念「伏木観光まつり」が勝興寺及び周辺で開催され、菅笠保存会&越中福岡の菅笠振興会ブースでは「菅笠作り実演」と「菅笠・菅細工販売」を行いました。



◆菅笠作り実演/笠縫い：茂古沼真知子理事、 笠骨づくり：中山有希子理事  
日本舞踊をしている男性から「菅笠のリフォームは出来ますか？」という質問がありました。骨組みになる笠骨が折れていなければ可能です！  
小学生の子供達は、菅笠づくりの写真や動画を撮影し、とっても楽しそうでした。

越中福岡の菅笠振興会  
新商品  
「カラフル豆笠」



越中福岡の菅笠振興会の染めスゲを使った新商品のカラフルな豆笠と、丸帽子が「かわいい〜♪」と大好評。菅笠保存会の菅笠づくり後継者育成事業で受講生と講師が製作した菅笠は、ヘルメット笠が大人気でした。購入された皆さんは、菅笠を被って伏木観光まつりを楽しんでおられました。



## かさぼんこの豆知識 — 伏木港と菅笠について —

富山県統計書の明治17年の資料によると…  
伏木港から輸出された「菅笠」の輸出額が、第4位！  
ちなみに第1位 米、2位 売薬、3位 銅器。  
輸出数は約135万枚。原価が53,500円で、**現在のお金に換算すると約10億円**だにゃん！！！！  
当時の礪波地方の菅笠製造及び製造高が約190万枚で、そのほとんどが伏木港から各地へ輸出されていたと思われるにゃん！



## 菅笠作り実演&菅笠ワークショップ

令和5年5月1日(月)、高岡御車山祭に合わせて、山町筋の「山町ヴァレー」で、菅笠作り実演・菅笠ワークショップを行いました。昨年度の奉曳は残念ながら雨の為中止となりましたが、今年は天候にも恵まれ、4年ぶりに7基の豪華絢爛な山車が練り歩き、県内外から多くの観光客が訪れました。



菅笠作り実演では、高岡御車山祭の山役員が被る「一文字笠」の笠骨作りと笠縫いを行いました。菅笠ワークショップではミニ菅笠作りを15名、兜笠づくりを3名が体験し、完成した兜笠を早速被って祭を楽しんでいました。



◆菅笠作り実演・写真左/中山孝志理事 ・写真右/橋本レイ子理事



◆菅笠ワークショップ  
・写真左/ミニ菅笠づくり講師：茂古沼真知子理事、菊地裕美さん  
・写真右/兜笠作り講師：中山有希子理事

## 笠骨づくりマニュアル4(DVD)制作中

笠骨づくりマニュアル第4弾(高岡市制作)の撮影と編集に協力しています。

9月4日(月)5日(火)の2日間、今回も中山孝志理事の工房(勝木原)2階をお借りして、4種類の笠(一文字笠・市女笠(平・尖)・ヘルメット笠)の笠骨づくりを撮影しました。

第4弾は難易度の高い尖ったタイプの市女笠の中骨の曲げ加工、ヘルメット笠の楕円の外輪骨を糸で繋ぐ方法等を詳しく説明します。

現在は編集の作業に入っています。



・写真右/かさぼんこの猫友の、スミちゃん(黒猫)とコマちゃん。勝木原工房の看板猫にゃんよ！  
※マニュアル1・2・3の貸し出しをしています。お気軽にお問い合わせください。(TEL0766-64-1426)

